

日本アゼルバイジャン経済委員会

第22回定時総会議案

- 第1号議案 令和2年度役員選任の件
- 第2号議案 令和元年度事業報告書
- 第3号議案 令和元年度収支計算書
- 第4号議案 令和2年度事業計画書
- 第5号議案 令和2年度収支予算書

令和2年(2020年)6月

第1号議案

日本アゼルバイジャン経済委員会
令和2年度役員選任の件

任期満了退任および任期途中退任により欠員となる役員の選任。

会 長 石井敬太 伊藤忠商事(株) 専務執行役員
エネルギー・化学品カンパニー プレジデ
ント

副会長 山添 茂 丸紅(株) 理事(任期満了退任)
副会長 花田拓紀 丸紅(株) 市場業務部長(新任)
副会長 片山祥徳 三菱商事(株) 執行役員欧州地域代表
欧州三菱商事会社社長(任期満了退任)
副会長 篠原徹也 三菱商事(株) 地域総括部長(新任)

理 事 双日(株)
三井物産(株)

監 事 小林英文 日本商工会議所・東京商工会議所 国際部 部長
(任期途中退任)

監 事 西谷和雄 日本商工会議所・東京商工会議所 国際部 部長(新任)

顧 問 田中哲二 NPO中央アジア・コーカサス研究所 所長

第2号議案

日本アゼルバイジャン経済委員会 令和元年度事業報告書

平成31年(2019年)4月1日～令和2年(2020年)3月31日

1. 情報収集・提供

アゼルバイジャンの経済・ビジネスに関する情報の収集、分析を行った。

2. 交流事業

- (1)アゼルバイジャン日本経済協力国家委員会との第10回日本アゼルバイジャン経済合同会議を開催(令和元年(2019年)11月21日(木) 於:如水会館)
日本側は石井会長、宮本経済産業大臣政務官をはじめ、会員企業、政府および政府関係機関、商社、メーカー等より約80名が参加し、アゼルバイジャン側はR.ハサノフ・アゼルバイジャン共和国外務次官、ババエフ・アゼルバイジャン共和国環境・天然資源大臣/アゼルバイジャン日本経済協力国家委員会議長をはじめ省庁・政府系機関関係者約20名が参加し、日本側、アゼルバイジャン側合わせて約100名となった。会議では、石井会長とババエフ環境・天然資源大臣が基調報告を行ったほか、今後の両国間の貿易・投資の拡大に向けて、地下資源、運輸、農業、中小企業交流について協議した。

3. 会議の開催

令和元年度第21回定時総会を開催

(令和元年(2019年)6月11日(火)16:00～17:00 於:如水会館 松風の間)

4. 会員状況

入会	なし
退会	なし
会員数	8社(増減 0)

第3号議案

日本アゼルバイジャン経済委員会
令和元年度収支計算書

平成31年(2019年)4月1日～令和2年(2020年)3月31日

単位:円

科目	平成30年度決算額	令和元年度予算額(A)	令和元年度決算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	(1)
合同会議参加費	0	250,000	100,000	△ 150,000	(2)
諸会合費	30,000	100,000	0	△ 100,000	
受取利息	19	0	27	27	
当期収入合計	2,030,019	2,350,000	2,100,027	△ 249,973	
支出の部					
事務局運営費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	0	(3)
合同会議開催費	0	2,100,000	1,559,461	△ 540,539	(4)
諸会合費	206,644	300,000	74,555	△ 225,445	(5)
通信費	0	5,000	0	△ 5,000	
交通費	0	5,000	330	△ 4,670	
雑費	1,512	2,000	2,632	632	(6)
当期支出合計	1,408,156	3,612,000	2,836,978	△ 775,022	
当期収支差額	621,863	(1,262,000)	(736,951)	525,049	
前期繰越収支差額	1,657,114	2,278,977	2,278,977	0	
次期繰越収支差額	2,278,977	1,016,977	1,542,026	525,049	

(注)

(1)の内訳: 250,000円 × 8社 = 2,000,000円

(2)の内訳: 非会員参加者20名 5,000円 × 20名 = 100,000円

(3)の内訳: ロシアNIS貿易会に対する事務局運営費 2,000,000円 × 60% = 1,200,000円

(4)の内訳: 総額約2,960,000円 ロシアNIS貿易会からの補助約1,400,000円

(5)の内訳: 定時総会開催費用

(6)の内訳: 振込手数料

第4号議案

日本アゼルバイジャン経済委員会 令和2年度事業計画書

令和2年(2020年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日

1. 情報収集・提供

アゼルバイジャンの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供する。

2. 交流事業

(1)講演会・セミナー・企業間交流等、日本とアゼルバイジャンのビジネス交流の促進、および友好親善関係を促進する各種の行事を開催する。

(2)第11回合同会議の開催(於:バクー)に向けて、アゼルバイジャン日本経済協力国家委員会、駐日アゼルバイジャン大使館と協議する。

3. 会議の開催

令和2年度第22回定時総会議案を書面にて決議(令和2年(2020年)6月)

第5号議案

日本アゼルバイジャン経済委員会
令和2年度収支予算書
令和2年(2020年)4月1日～令和3年(2021年)3月31日

単位:円

科目	令和元年度予算額(A)	令和元年度決算額	令和2年度予算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	(1)
合同会議参加費	250,000	100,000	0	△ 250,000	(2)
諸会合費	100,000	0	100,000	0	(3)
受取利息	0	27	0	0	
当期収入合計	2,350,000	2,100,027	2,100,000	△ 250,000	
支出の部					
事務局運営費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	0	(4)
合同会議開催費	2,100,000	1,559,461	0	△ 2,100,000	(5)
諸会合費	300,000	74,555	225,000	△ 75,000	(6)
通信費	5,000	0	5,000	0	
交通費	5,000	330	5,000	0	
雑費	2,000	2,632	2,000	0	(7)
当期支出合計	3,612,000	2,836,978	1,437,000	△ 2,175,000	
当期収支差額	(1,262,000)	(736,951)	663,000	1,925,000	
前期繰越収支差額	2,278,977	2,278,977	1,542,026	△ 736,951	
次期繰越収支差額	1,016,977	1,542,026	2,205,026	1,188,049	

(注)

(1)の内訳: 250,000円×8社=2,000,000円

(2)今年度は合同会議の開催が予定されていないので計上なし。

(3)の内訳: 要人との懇談会会費等 10,000円×10名=100,000円

(4)の内訳: ロシアNIS貿易会への事務局運営費の支払い 2,000,000円×60%=1,200,000円

(5)今年度は合同会議の開催が予定されていないので計上なし。

(6)の内訳: 要人との懇親会費等

(7)の内訳: 振込手数料等